夢工房 JYONAN
建築設計施工
株式会社　城南組

JYONAN通信

第118号
令和6年1月号

TEL:075-841-1403　FAX:075-812-0457

この『JYONAN通信』は皆さまと弊社とのご縁を大切にしていきたい　今後もなんらかお付合いが続けていただけたらと思い作らせていただきました
お時間があるときにでもお読みいただければ光栄です　かゆいところに手が届く建築屋でありたい…(株)城南組の取締役　寄本　猛です

謹賀新年

幸多き新春をお迎えのことと存じます
昨年は大変お世話になり　誠にありがとうございました
皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします　本年も何卒よろしくお願い申し上げます

「富や財運、幸運に恵まれる」辰年

辰年の「辰」は、十二支の中で唯一実在しない生き物です。
辰年の辰は、竜や龍に置き換えられて、神話でも良く登場してきます。
中国の漢書では、この十二支には「振(しん)」＝「ふるえる」「ととのう」
という意味があり、草木が整った状態を指すようです。
ちなみに竜(龍)は、中国の神話に出てくる「四神(ししん)」の中で
“発展”をもたらしてくれる神獣(青龍)とされています。
したがって辰の十二支が回る年は、仕事運や金運に縁の深い1年と言われています♪

辰年生まれはどんな性格？

辰年生まれの人は、一見大人しそうに見える人でも、
その内面には並々ならぬ生命力を秘めています。
「振動」という漢字の中に「辰」の文字が使われているように、
辰年生まれの人はとても活力的な人です。
また、辰年生まれの人はとてもマイペースな人です。
それなのに周りにいる人たちからは不思議と愛されるのが辰年生まれの人の特徴です♪

２０２４年　最強開運日

2024年は、一粒万倍日と天赦日の両方が重なった、最強開運日が4日あります。

- 2024年1月1日(月祝)　天赦日+一粒万倍日+天恩日
- 2024年3月15日(金)　天赦日+一粒万倍日+寅の日
- 2024年7月29日(月)　天赦日+一粒万倍日+大安
- 2024年12月26日(木)　天赦日+一粒万倍日

2024年は1月1日の元日が天赦日に当たります。とても縁起のいい1年の始まりですね！

不定期ではありますがこの『JYONAN通信』で弊社の取り組み・出来事・イベントなどのお知らせの発行が出来ればと思っております。
※この通信紙及びチラシの送付でご迷惑をおかけしていましたら恐れ入りますがご連絡いただければ 送付を取りやめさせていただきます。

～安心・安全・健康で快適な住まいつくりのお手伝い～

おかげさまで創業109周年

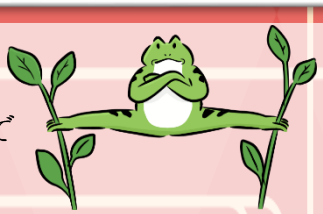
〒604-8803　京都市中京区蛸薬師通大宮西入上ル因幡町97
株式会社　城　南　組
TEL:075-841-1403　FAX:075-812-0457
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.jonangumi.co.jp　ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：info@jonangumi.co.jp
建設業許可　京都府知事（特-2）第1490号

思い出の「現場」

下記の写真の建物どこかで見覚えのある建物だと思われる方も多いと思いますが
木造2階建ての小さなこの建物は某公共建築なのですが
11月ある日この前を通った時、何気にシャッターを押しました（久しぶりに会うねと）
34年前に私が工事担当で建てさせていただきました。

令和5年11月撮影

34年前完成時撮影

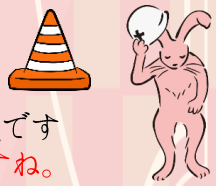


公共工事なので入札で受注する業者を決めるのですが、
1回目の札入れで役所の予算より全社オーバーで2回目の札入れ
それでも予算内の業者はおらず、その中でも弊社城南組が最安値であったので
役所の担当者と値交渉になり（随意契約とも言います）当時積算した私に
入札に行っていただいた専務より電話があり、
こう言うことで今残ってネゴに入ってるんやけど〇〇〇円内で出来るか？と専務の問いに
私「無理です！」では今すぐ来てくれと、相談にのってほしいとの事で駆けつけると

どうしたらこの予算内で出来るかの相談となり（予算はこれ以上出せない！と）なので、
ひらめいた設計変更案を申し入れ、私「再度積算してみますので持ち帰らせてください」
担当者「わかった、その変更案で予算内でやってくれるならそれで行こう！」と
担当者のその変更案を快く受け入れていただき、後日予算内の金額で応じることでスタートしましたが、
やりますと言ってしまったが、このような小さな建物、予算を絞るところなどありません、、、
逆に思い通りに行かず予算オーバーするかも？

工事するには立地も良くないし車も置けない人通りも自転車多いしなぁ～で始まりましたが
協力業者さんにお願いし何とかお金も納まりました。
中でも瓦屋さんがその予算内で、ここはきっちりやらせていただきます！と
その男気で施工をしてくれました。これがほんとの瓦仕事かと思わされる施工内容でした。
と言うのはすべての瓦一枚一枚擦り合わせ隙間なく葺いてくれました。
いぶし日本瓦は焼き物で、すべて同じではなく少しずつ微妙に違うので
どうしても重なりが少し隙間があります。それが多いと地震台風雪などの影響もありズレていきます。
また瓦の下に入れる土の量で瓦との接地面の多い少ないの影響もありますが、
この屋根**34年経ちますが今だ1枚のずれもありません**(一度車が突っ込んで一部修繕していますが)
（※今はほとんど土葺き施工ではなく桟掛け瓦葺でズレません）

また、この建物の敷地下近くには地下鉄も通っており、電車が通ると少し振動するのと、
もともと地盤も悪く当時はまだ杭だの地盤改良など、現在なら当然やらねばならない
肝心な地業の補強も指示されなく、地盤の補強はしていません。
それほど耐震構造でもない建物なのに瓦はピシッとしています。これがほんとの瓦仕事なんですね。
ベテランの職人さんはほんとの良い仕事を知っています。



また昔はそれが当たり前に仕事をされていたかと思いますが、
現在は予算に工期もあり他社との比較もされ競争社会に生き残れません。
安く早くが喜ばれ、**お金ではなく、いい仕事をしてほしいと依頼されるお客様は希少**です
（いや滅多におられません）歯がゆいのですが後者で生き残れる建築屋でありたいですね。

瓦葺工事中写真